

//@SE:チャイム

【リアーナ】

「はーん」

//@SE:廊下を歩く音？

//@SE:玄関を開ける音

【リアーナ】

「あ、せんぱい♪ 今日も家庭教師、お願いしますね♪」

【リアーナ】

「……あれ？　なんか表情が暗いですけど、どうしました？」

【リアーナ】

「『どうもしないよ』って……そんな表情じゃないですけど……」

※モノログです。同様の書式のセリフにもモノログのエフェクトをお願いします。

【リアーナ】

「（せんぱいが話したくないなら、詳しく聞いちゃ悪いかな……？）」

【リアーナ】

「えーっと……それじゃあ、お勉強はじめましょうか？」

※タイトルコール

【リアーナ】

「せんぱい、終わりました」

【リアーナ】

「……せんぱい？」

【リアーナ】

「『どこがわからないの？』じゃないですよ。

問題は全部、解き終わりましたよ」

【リアーナ】

「(やっぱり……せんぱい、元気がない……)」

【リアーナ】

「せんぱい、何か辛いことがあったんですか？」

【リアーナ】

「私は年下だから、

せんぱいのお悩みにアドバイスなんて出来ないかもしれないですけど……」

【リアーナ】

「でも、お話なら聞くことが出来ます。

話すだけでも気持ちが少しは楽になるかもしれませんし……」

【リアーナ】

「だから、その……私、せんぱいの力になりたいです！」

※せんぱいの話を聞いてます。

【リアーナ】

「……………」

【リアーナ】

「(あああ……弱々しく何があったか話すせんぱい、かわいい♪)」

【リアーナ】

「(って、今はせんぱいの力にならないと!)」

※ちよっと間(せんぱいの話を聞いたイメージを持ってもらうため)

【リアーナ】

「そうですか……アルバイトで失敗しちゃったんですか……」

【リアーナ】

「(アルバイトの失敗じゃ、働いたことがない私にはアドバイスなんて無理だし……)」

【リアーナ】

「何かせんばいを励ます方法はないかなあ……」

【リアーナ】

「(そうだ!)」

【リアーナ】

「せんばい、もうちょっとこっちに来てもらえますか？」

//@SE:抱きしめ(衣擦れ?)

【リアーナ】

「んっ……」

【リアーナ】

「こうやって、ぎゅってされると少しは元氣になれると思ったんですけど……嫌でしたか……?」

【リアーナ】

「嫌じゃないなら、このままぎゅってさせてください」

【リアーナ】

「年下の女の子に慰められるなんて情けない?」

【リアーナ】

「せんばいは情けなくなんかないです」

【リアーナ】

「いつも一生懸命で……人一倍、頑張ってる……
周りを気遣ってくれて……些細な変化にも気付いてくれて……」

【リアーナ】

「せんばいは優しくて、格好良くて、すごく素敵な人です」

【リアーナ】

「それに、誰だって失敗することはありますよ」

【リアーナ】

「だから、無理しないでください。」

「今だけでもいいですから、甘えてください」

/◎SE:抱きしめっ

【リアーナ】

「んっ……」

【リアーナ】

「とくん、とくんって心臓の音が聞こえると、なんか落ち着きますよね？」

【リアーナ】

「肩の力を抜いて、余計なことは何も考えないで、私に身を委ねてください」

【リアーナ】

「責任感の強いせんぱいのことですから、
きっと失敗した分、もっとがんばったんですね？」

【リアーナ】

「辛かったのに、よくがんばりましたね。いい子いい子♪」

※最初の『あ』は気づきの『あ』です。どもりの『あ』ではないので、ご注意ください。

【リアーナ】

「あ、頭などでされるの嫌でした？」

【リアーナ】

「ふふっ、嫌じゃないなら、ぎゅっしてしながらなでしますね？」

【リアーナ】

「今は、何もがんばらなくていいんです。
せんぱいが満足するまで、このまま抱きついていいですから」

【リアーナ】

「いっっぱい、甘えてください♪」

【リアーナ】

「『いや、でも』じゃないです。遠慮なんてしないでください」

【リアーナ】

「ね？ 今は、他に誰もいませんから」

//@SE:抱きしめ

【リアーナ】

「んっ♪」

【リアーナ】

「（ああ、せんばいにぎゅーってされると、胸がドキドキして……

体が、ちょっと熱くなってるきちゃう……）」

【リアーナ】

「（ちょっと汗かいてきちゃってるけど……せんばい、嫌じゃないかな……？

もっと甘え続けて欲しいけど……）」

【リアーナ】

「（あ、せんばい……こっそりと私の汗のにおい、くんくんしてる……）」

【リアーナ】

「（あ……せんばいのアソコ、膨らんでる……）」

【リアーナ】

「（ただの後輩としか思ってなかった私のおいで興奮してるんだ♪）」

【リアーナ】

「（はあ♪ せんばい、私の体にほっぺすりすりしてる……）」

【リアーナ】

「んっ……！」

【リアーナ】

「せんぱいってば、鼻で私の胸をつんつんして……

我慢、出来なくなっちゃってるんだ♪」

【リアーナ】

「せんぱい、触りたいなら、堂々と触っていいんですよ？

私の、おっぱい♪」

【リアーナ】

「どうして謝るんですか？」

【リアーナ】

「言ったじゃないですか、『せんぱいが満足するまでしていい』って」

【リアーナ】

「だから、せんぱいの好きにしていいいんですよ？」

【リアーナ】

「せんぱいは……どうしたいですか？」

※受け答えしてる感じの間を少しだけ？

【リアーナ】

「『おっぱいを触りたい』ですか？ もちろん、いいですよ？」

//@SE:服を脱ぐく焦らすために、少し長めに？

【リアーナ】

「（ああ、せんぱい……私が服を脱ぐとこ、ジッと見てる……）」

【リアーナ】

「（はあ、はあ……性的な目で、私のこと……ごくっ……）」

【リアーナ】

「おっぱい、ちっちゃいですけど……好きなだけ、甘えてください♪」

【リアーナ】

「ひあん！」

【リアーナ】

「んんっ！ 乳首、ちゅーちゅー吸って……」

あ、ん……せんばい、赤ちゃんみたいです♪」

【リアーナ】

「遠慮しないでいいんですよ？」

この、ちっちゃなおっぱいは……せんばいのモノですから」

【リアーナ】

「あんっ♪ はっ、ああ……せんばい、わかりますか？」

私の乳首、せんばいにちゅーちゅーされて硬くなってます」

【リアーナ】

「あっ、あっ、は、うん！」

乳首、甘噛みされても、おっぱい出ないですよ♪」

【リアーナ】

「はあ、はあっ……『出なくても、もっと吸いたい』……？」

はい、いいですよ♪」

【リアーナ】

「ああん……おっぱい揉みながら、ちゅーちゅー吸うなんて……」

せんばいって本当におっぱいが好きなんですネ♪」

【リアーナ】

「んくっ……おっぱいって、男の人に揉まれると大きくなるって言いますが、

本当なんですかね……？」

【リアーナ】

「ちいさなおっぱいのままの方がいいから、おっぱい揉むのやめる……？」

※背筋がゾクゾクッと（興奮）してる感じで。

【リアーナ】

「(ああ、せんぱいって、本当にちいさなおっぱいが……私の、おっぱいが、好きなんだ)」

【リアーナ】

「あっ！ あっ！ あんっ！

乳首への、ちゅーちゅーが激しく……ああん♪」

【リアーナ】

「んんっ！ あっ、はっ……

せんぱいの唾液で、乳首がヤラしく光ってる……」

【リアーナ】

「はあっ、はぁ……あれ……？ もう、甘えないんですか？」

【リアーナ】

「えっ？ 『反対側でも甘えたい』？」

【リアーナ】

「いいですよ♪

左側の乳首もいっぱいちゅーちゅーして甘えてください♪」

【リアーナ】

「んんっ♪ はあっ、あっ……ひうんっ！」

【リアーナ】

「はぁ、はぁ、右の乳首を指でコリコリするなんて、左の乳首だけじゃ甘えたりないんですか？」

【リアーナ】

「両方の乳首で甘えさせてあげるのは……せんぱいにだけ、特別ですよ？」

【リアーナ】

「ふあっ、あっ……あふ、んっ！ あっ、はぁ、はっ……唇で乳首、はむはむされながら……んっ、舌で舐められるの、気持ちいいです……っ」

【リアーナ】

「んあ、あ、あっ！ ふふっ、せんぱい、乳首に夢中ですね♪
もっともっと、甘えさせたくなっちゃいます♪」

【リアーナ】

「はっ、はあっ……んんっ！

今度は、右側の乳首をちゅーちゅーするんですか？」

【リアーナ】

「あっ、ああっ……はう、んっ、せんぱいの舌使い、
緩急をつけて、いっぱい擦って来て……ああっ、あっ……すごいです……っ」

【リアーナ】

「はっ、はっ……んあっ、あっ、上手です、せんぱい……
乳首ちゅーちゅーされるの、すごく気持ちよくて……あっ、あっ、ああっ！」

※軽くイッてます

【リアーナ】

「んんん……っ！……！」

【リアーナ】

「はあっ、はあっ……はあっ……」

ふふっ、私もせんぱいも、いっぱい汗かいましたね♪」

【リアーナ】

「あ、ん♪ 鎖骨ぺろぺろして、どうしたんですか？」

【リアーナ】

「私の汗、ぺろぺろして拭いてくれるんですか？」

【リアーナ】

「（あ、図星を突かれて、せんぱい照れてる♪）」

【リアーナ】

「せんぱいがしたいなら、ぺろぺろしてくれていいんですよ？」

【リアーナ】

「んっ♪ はっ、ああっ……あ、んっ……」

せんぱいの舌使い、優しく……はあ、はあ……気持ちいいです」

【リアーナ】

「さっきまでは乳首が大好きな赤ちゃんだったのに、

今度はぺろぺろが大好きなわんちゃんみたいで、もうかわいすぎです♪」

【リアーナ】

「あっ、あっ……んんっ……」

鎖骨だけじゃなくて、首の汗も拭いてくれるんですか……？」

【リアーナ】

「あふ、んっ……ぺろぺろじゃなくて、ちゅーに変わりましたが、

そんなに汗、かいちゃってます……？」

【リアーナ】

「あ……それとも、首にキスマークつきたいんですか？」

【リアーナ】

「ふふっ、その反応、アタリみたいですっね♪」

【リアーナ】

「私が甘えて欲しいのはせんぱいだけですから、

せんぱいがしたいなら、いっぱいマーキングしていいですよ」

【リアーナ】

「はいっ♪」

せんぱいのものだって、いっぱいマーキングしちゃってください♪」

【リアーナ】

「んんっ……あっ、はあっ……あ、んっ……あ、あっ……」

【リアーナ】

「首、ジーンってあったかくなってます……」

【リアーナ】

「私からは見えませんが、ちゃんとマーキング出来ました？」

【リアーナ】

「もっとマーキングしたい……？」

【リアーナ】

「もちろん、いいですよ♪」

【リアーナ】

「んんっ……あふ、うん……はあっ……あ、ん、んっ……」

【リアーナ】

「はぁ……はぁ……首、下から上まで、いっぱいキスされてる……」

【リアーナ】

「他にもキスしたいところがあったらしてくださいね？」

【リアーナ】

「あ……」

【リアーナ】

「（せんぱい……私の唇を見た……）」

【リアーナ】

「せんぱい……」

※キス待ち

【リアーナ】

「……………」

【リアーナ】

「……唇にはしてくれないんですか？」

【リアーナ】

「……え？ 『恋人でもない教え子の後輩に悪いことをした……』？」

【リアーナ】

「謝らないでください。せんぱいは何も悪いことなんてしてないんですから」

【リアーナ】

「だって、私は――」

【リアーナ】

「せんぱいのことが、大好きですから」

【リアーナ】

「んっ、ちゅっ……ちゅくっ……はぁ、んんっ……
ちゅっ、ちゅっ……ちゅぷっ……ん、ちゅく……ちゅっ……」

【リアーナ】

「ん、はぁ……こんなに、たくさんキスをしちゃうくらい、
せんぱいのことが好きなんですよ？」

【リアーナ】

「だから、せんぱいがしたいこと、していいですよ？
さっきまでみたいに、好きなだけ私に甘えてください」

【リアーナ】

「んっ……ちゅっ、ちゅぷっ……んちゅっ、はぁ……
んんっ、ちゅっ、ちゅっ……」

※プチ恍惚

【リアーナ】

「ん、はぁぁぁ……」

【リアーナ】

「自分からするキスと、好きな人からされるキスって
気持ちよさが全然違うんですね」

【リアーナ】

「せんぱいは、どうでした……？」

【リアーナ】

「あ、せんぱいの……すっごくおっきくなってる」

【リアーナ】

「せんぱいも、したくなっちゃったんですね」

【リアーナ】

「ふふっ、シテいいですよ？」

【リアーナ】

「せんぱいにたくさん甘えられて、キスしあって、私の方はもう準備できてますから」

【リアーナ】

「ほら、ぱんつにおっきな染みが出来て……私の大事などこ、透けちゃってます」

//@SE:パンツ脱ぎ

//-----

【リアーナ】

「まだ誰にも触られも、見られもしたことがない、私のおまんこに……入れていいですよ？」

//★卑語なしver

【リアーナ】

「まだ誰にも触られも、見られもしたことがない、私のココに……入れていいですよ？」

//-----

//@SE:ベルトを外そうとする音（ちょっと荒め）

【リアーナ】

「（ふふっ、焦ってベルトが外せないせんぱい、かわいい♪）」

【リアーナ】

「ズボン脱がすの、お手伝いしますね？」

//@SE:ベルトを外す&ズボンを脱がす音

//.....

【リアーナ】

「(ごくっ……これがせんぱいの、おちんちん……すごい……)」

//★卑語なしvet

【リアーナ】

「(ごくっ……これがせんぱいの……すごい……)」

//.....

【リアーナ】

「このせんぱいのたくましいので、私のこと、好きにしてください」

【リアーナ】

「はい、いいですよ。だって……私は、せんぱいのものですから♪」

//@SE:がばっと押し倒す音？

【リアーナ】

「ん……せんぱい、もうちょっと下です……」

【リアーナ】

「はい、そこです……」

※ちよっとずつ入っていつて

【リアーナ】

「んっ、あ、あ、あ……」

せんぱいの……ちよっとずつ、私の中に入ってきます……」

※にゆるん、と一気に入る

【リアーナ】

「ふぁあん!!!!」

【リアーナ】

「はぁ……はぁ……えへへ、にゆるんって全部入って、
ちよつとびっくりしちゃいました」

【リアーナ】

「エッチするの初めてなので、ちよつとだけ苦しいですけど……
でも、私は大丈夫です」

【リアーナ】

「だって、初めての相手が大好きなせんばいで、すごく嬉しいんですもん」

【リアーナ】

「せんばいは、大丈夫ですか？」

私の中、せんばいのにびったりくつついちゃってますけど……」

【リアーナ】

「えっちなおつゆでぬるぬるしてるから、気持ちいい……？」

【リアーナ】

「あ、せんばいの腰、ちよつと動いちゃってますね」

【リアーナ】

「いいですよ？ 私のは気にしないで、せんばいの好きに動いて……」

【リアーナ】

「んっ、あっ、はぁっ、あっ……」

せんばいの、たくましいのが私の中で、いっぱい動いています♪」

【リアーナ】

「はっ、んっ……せんばいの、あったかくて……」

中、たくさん擦って……すごい、素敵です……っ」

【リアーナ】

「あっ、ふっ……んっ、あ、あっ……」

せんぱいが満足するまで、私の中を感じてくださいね……?」

【リアーナ】

「はあ、はあ……私の中、せんぱいと繋がってから、

どんどん濡れてきてるので、いつでも激しくして大丈夫ですから」

【リアーナ】

「あふ、んっ……せんぱいのが奥まで届いて、すごいです……っ」

【リアーナ】

「んんっ！ はあっ♪ 感じてるせんぱいの顔も大好きです♪」

【リアーナ】

「ん、あっ……奥まで入れると、中がキュッて締まるのが気持ちいい?」

【リアーナ】

「なら、私の奥をいっぱい突いて気持ちよくなってください」

【リアーナ】

「んっ！ あっ、はっ……繋がりが深くなると、せんぱいのが中で
ビクンって震えて、感じてくれてるのが伝わってきます……っ♪」

【リアーナ】

「はっ、はっ……あんっ……」

あっ、せんぱいの顔がすごく気持ちよさそうになってる♪」

【リアーナ】

「はあ、んっ……もっと気持ちよくなってください……」

はあ、はあ……中、いっぱいぎゅゅっしてしますから」

【リアーナ】

「んんんうううっ!!」

【リアーナ】

「ん……っ！ 急に抱きついてきて、どうしたんですか？」

【リアーナ】

「感じてる顔を見られるの、恥ずかしかったんですか？
それとも、私に甘えたかったんですか？」

【リアーナ】

「両方？ ふふっ、せんぱいってば、甘えん坊さんですね♪」

※最後（えらいえらい）で頭を撫でてます

【リアーナ】

「でも、素直に話せて、えらいえらい♪」

【リアーナ】

「ご褒美にもう一回、ぎゅゅっしてしますね？」

【リアーナ】

「背中に手を回して……足を腰に回して……
全身と、中で……ぎゅゅっ♪」

【リアーナ】

「んんっ！ すごい、せんぱいの形がよくわかります」

【リアーナ】

「はあっ……はっ……中、せんぱいの形になって……
正真正銘、せんぱいだけの……せんぱい専用のリアーナですよ♪」

【リアーナ】

「ん、あ、あっ……せんぱい、奥にグリグリ擦りつけて……
んあっ……赤ちゃんのお部屋と、ちゅーしたいんですか？」

【リアーナ】

「ふふっ、いっぱいチューしてくださいね？」

【リアーナ】

「でも……ちゅーは、赤ちゃんのお部屋とだけでいいんですか……？
お口も、空いてますよ？」

【リアーナ】

「んっ、くちゅっ……んんっ！ あっ、ふぁっ……ちゅぷ、んっ、あぁっ……
上と下、両方でちゅーするの、すごく気持ちいいですね？ はぁ、んっ、んっ……」

【リアーナ】

「はぁ、はぁ……他にもしたいことがあったら、好きなだけ甘えてくださいね」

【リアーナ】

「『おっぱいでミルクもらえなかったから、リアーナの唾液が欲しい』ですか？」

【リアーナ】

「もちろん、いいですよ」

【リアーナ】

「はぁ、んむっ……せんぱい、いっぱい唾液あげますから……
んちゅっ……舌、いっぱい絡めますね？」

【リアーナ】

「んっ、れちゅるっ……ちゅぱ、んちゅっ、ちゅむっ……ん、ちゅぷう……」

【リアーナ】

「ん、はぁ……んっ！

せんぱいが私の唾液ごっくんするたび、中で大きくなっています♪」

【リアーナ】

「もう我慢出来ない？」

【リアーナ】

「いいですよ？ 激しく、してください♪」

【リアーナ】

「んんっ！ あっ、ああっ……」

中、ぎゅゅっってしてるから、せんぱいのが、すごい擦れますっ」

【リアーナ】

「（せんぱいにぎゅーって抱きついてるから、

せんぱいが動くたびに乳首も擦れる……っ）」

※モノログ中、バックで流す用の汎用喘ぎです。

【リアーナ】

「あっ、はっ、あん！ んっ、はあっ……ああっ！

あっ！ んんっ！ はっ、あああっ！」

【リアーナ】

「はあっ、はっ！ んんっ！ 私の腰がちり掴んで、

奥まで激しく突いてくるせんぱい、男らしくて素敵ですっ！」

【リアーナ】

「んんっ！ ああっ！ あっ！ 普段の、優しいせんぱいもいいけど――

あんっ！ 今の、男らしいせんぱいもいいですっ！」

【リアーナ】

「はあっ、んあっ！ このまま私のことは気遣わずに、

せんぱいのしたいことを、していいですから！」

【リアーナ】

「はっ、ああっ！ 私が、全部、受け止めます！

だから、好きなだけワガママになってください！」

【リアーナ】

「ふあっ、あっ！ せんぱい自身を！ んあっ！

男の人の欲望を、好きなだけ、ぶつけてください！」

【リアーナ】

「んっ、あっ……私の足、広げて……ああん！ あっ！ あっ！」

【リアーナ】

「すごい……っ！　すごいっ！　せんぱいの、また大きくなって……
あん！　ジュポジュポ激しくなったっ！」

【リアーナ】

「はあっ、あっ！　リアーナのつるつるおまんこを見たら、
はっ、んっ、もっと、興奮してきた……？」

★卑語なしver

「はあっ、あっ！　私とせんぱいが繋がつてるところを見たら、
はっ、んっ、もっと、興奮してきた……？」

【リアーナ】

「あっ、はあん！　私の幼いアソコ……
おまんこ、好きなだけ見てください！」

★卑語なしver

【リアーナ】

「あっ、はあん！　私の幼いアソコを……
せんぱいと繋がれて喜んでるアソコを、好きなだけ見てください！」

【リアーナ】

「ああっ！　あっ！　はあっ、それでいっぱいジュポジュポして、
おちんちん、気持ちよくなってくださいね！」

★卑語なしver

【リアーナ】

「ああっ！　あっ！　はあっ、それでいっぱいジュポジュポして、
いっぱい、気持ちよくなってくださいね！」

【リアーナ】

「くっ、うん！ 私も、気持ちいいです！

あっ！ ああっ！ イキたいときに、イッていいですから……っ！」

／＼……………

【リアーナ】

「あっ！ ああっ！ 顔でも、おなかでも、おまんこの中でも、せんぱいの出したいところに出してくださいっ」

／＼★卑語なし／＼

【リアーナ】

「あっ！ ああっ！ 顔でも、おなかでも、中でも、せんぱいの出したいところに出してくださいっ」

／＼……………

【リアーナ】

「んんっ！ あっ、はああっ……腰の動きが、また速く……っ！」

【リアーナ】

「（せんぱい、齒を食いしばってる。イクの、我慢してるんだ）」

【リアーナ】

「（ちよつとでも長く私の中にいたいんだ♪）」

【リアーナ】

「ああっ、はあん……っ！ んん……っ！

腰、ビクビク震えちゃうくらい気持ちいいのに、頑張れてえらいですね♪」

【リアーナ】

「んっ！ はあっ、全部、お見通しですよ？」

あっ、あっ、だって大好きな人の変化ですもん、見落とさないですよ」

【リアーナ】

「はあっ、あっ、せんぱい、がんばって……っ！

あっ、あっ、いっぱい、いっぱい私の中で感じて……っ」

／＼……………

【リアーナ】

「んあっ！ ああっ！ 入り口から奥まで何度もおちんちんが往復して、は、んっ！ おまんこの中を、堪能してます！」

／＼★卑語なしver

【リアーナ】

「んあっ！ ああっ！ 入り口から奥まで何度もせんばいのが往復して、は、んっ！ 私の中を、堪能してます！」

／＼……………

【リアーナ】

「はっ、はあっ！ んっ！ もっと、もっと感じてください！
ああっ！ あっ！ 甘えて良かった、って思えるくらい、ぎゅうっってしますから！」

／＼……………

【リアーナ】

「ああん！ あっ！ あっ！ せんばいのおちんちん、
おまんこの中でビクビク震えた……っ！」

／＼★卑語なしver

【リアーナ】

「ああん！ あっ！ あっ！ せんばいのおっきいのが、
私の中でビクビク震えた……っ！」

／＼……………

【リアーナ】

「んあっ、ふあっ！ せんばい、もう我慢の限界なんですね？」

【リアーナ】

「あっ、ああっ！ いい、ですよ……っ！ んんっ！
一滴残らず、全部、私に出してください……っ！」

【リアーナ】

「はあっ！ んくっ、ああっ！ 中、ですね……？
はい、出してください……っ！」

／・·····／

【リアーナ】

「あっ！ あっ！ おまんこの中に、せんぱいの精液、出してくださいっ！」

／★卑語なし／

【リアーナ】

「あっ！ あっ！ 私の中に、せんぱいの精液、出してくださいっ！」

／・·····／

【リアーナ】

「んっ！ ああっ！ あっ、あっ！ せんぱい……っ！ せんぱ、い……っ！
あっ！ ああっ！ ああっ！」

※中出し

【リアーナ】

「ふあっ！ あっ、あっ……あああああ……っ！」

【リアーナ】

「(私の中でせんぱいのがどくんどくんって言ってて、
熱いのが、じわじわ広がってく……)」

【リアーナ】

「(中出して、すごい。)

気持ちよくて、体が蕩けそうで……頭が真っ白に……)」

／@SE:おもらし

／※弛緩した声(吐息)

【リアーナ】

「ふわああああ……」

【リアーナ】

「んあっ……

せんぱいのがビクンって震えたら、中から抜けちゃいました……」

／＼……………

【リアーナ】

「ふあ……せんぱいの精液、おまんこから溢れちゃってます……
こんなになくさん出たんですね……」

／＼★卑語なしver

【リアーナ】

「ふあ……せんぱいの精液、アソコから溢れちゃってます……
こんなになくさん出たんですね……」

／＼……………

／＼……………

【リアーナ】

「あ……せんぱいのおちんちん、ドロドロです……」

／＼★卑語なしver

【リアーナ】

「あ……せんぱいの、ドロドロです……」

／＼……………

【リアーナ】

「待っててください、今、綺麗にしますね？」

【リアーナ】

「んっ、ちゅっ♪ ちゅくっ……ん、ちゅるっ……
れちゅっ、ちゅる、ちゅぱあ……っ♪」

【リアーナ】

「とろおっとしてて、喉に絡んで……ちゅっど苦い……」

【リアーナ】

「これが、せんぱいの味なんだ……」

【リアーナ】

「ちゅっど独特で不思議な感じですけど、
私、せんぱいの味、好きです♪」

【リアーナ】

「あっ、せんぱいのピクンってした」

【リアーナ】

「とろおっとした白いの……精液が出てきました」

【リアーナ】

「また、おちんちんをお口でお掃除して欲しい？」

／＼★卑語なしver

【リアーナ】

「また、硬いままのコレをお口でお掃除して欲しい？」

【リアーナ】

「えへへっ、もちろんです！」

【リアーナ】

「まだお掃除してない先っぽ以外も、溢れてきた精液も、
ゼーんぶ綺麗にしちゃいます♪」

【リアーナ】

「じゃあ……おちんちん、お口でお掃除しますね？」

／＼★卑語なしver

【リアーナ】

「じゃあ……お口でお掃除しますね？」

【リアーナ】

「んちゅる、ちゅぱ、ちゅくる……んんん、ちゅっ♪」

【リアーナ】

「んあ……精液、ベッドの上に垂れちゃう……ダメ、もったいない……ちゅぷ……んちゅっ……れるっ……ちゅるちゅぱ……」

【リアーナ】

「あ、裏にまだちよつと残ってる……
んっ、ちゅく……ちゅる……ちゅぷっ、れちゅっ……」

【リアーナ】

「うんっ、せんぱいの綺麗になりましたね♪」

【リアーナ】

「こうやって間近で見るとすごいですね、せんぱいの……」

【リアーナ】

「太くて、硬くて、上を向いてて、
すごくたくましいのに、どこかわいくて……」

【リアーナ】

「イクの、たくさん我慢して……いっぱい中に出して……
なんか、すごく愛おしいです……」

※頬ずりしてます

【リアーナ】

「ふふっ、すりすり♪」

【リアーナ】

「あ、ほっぺですりすりしたら、せんぱいのがビクンってした……。
痛かったですか？」

【リアーナ】

「逆？ むしろ、ぷにぷにしたほっぺですりすりされるのが気持ちよかった？」

【リアーナ】

「あ、せんぱいの、先っぽからおつゆが出てきてます」

／※すんすん…匂いを嗅いでます

【リアーナ】

「すんすん……はああ♪

せんぱいの、すぐくエッチで、男らしいにおいがあります」

【リアーナ】

「ふふっ、我慢出来ずにヨダレを垂らしてるみたいです♪」

【リアーナ】

「この子は甘えん坊さんですね」

【リアーナ】

「まだ甘えたりないみたいですから、今度は……」

【リアーナ】

「お掃除のためのフェラチオじゃなくて、

せんぱいを気持ちよくするためのフェラチオをしますね？」

【リアーナ】

「私のお口に、いっっぱい甘えてください♪」

【リアーナ】

「ちゅっ、ちゅく……ちゅぴっ、ちゅむっ……んっ！

この出っ張ったところ……カリ首、ですか？　が気持ちいいんですね」

【リアーナ】

「私の中をいっぱい擦ってくれた、せんぱいのカリ首、好きです。

ちゅっ、ちゅっ♪」

【リアーナ】

「キスだけじゃなくて、啜えてじゅぽじゅぽして欲しい？」

【リアーナ】

「はい♪」

【リアーナ】

「あむっ♪ んんっ……せんぱいの、おっきい……。
口の中、せんぱいのでいっぱいです……」

【リアーナ】

「せんぱいのに歯が当たらないように気をつけて……」

【リアーナ】

「んっ、ちゅぷっ……じゅくっ、じゅる……
ぢゅむっ、ぢゅっ、くぷっ……ん、じゅるう……」

【リアーナ】

「せんぱいの、ずっと元気なままで、すごくたくましいです♪」

【リアーナ】

「せんぱいが好きなほっぺにすりすり、口の中でもしますね。
ぐぼっ、じゅぼっ、ちゅぶっ……」

【リアーナ】

「んんっ……口の中、せんぱいの味が少し濃くなった♪」

【リアーナ】

「ふふ、またヨダレを垂らしちゃったんですね」

【リアーナ】

「ヨダレを垂らしたら、また……んっ、じゅちゅっ、じゅくう……っ！
こうやって吸ってあげますから、いっぱいヨダレを垂らしてくださいね♪」

／＼……………

【リアーナ】

「くちゅっ、ちゅぱっ……ん、ぢゅう……んっ、おちんちん、ほっぺに擦りつけて、
じゅぼじゅぼすると、いっぱいビクンって震えて、すごいです」

／＼★卑語なしver

【リアーナ】

「くちゅっ、ちゅぱっ……ん、ぢゅう……んっ、せんぱいの、ほっぺに擦りつけて、

じゅぽじゅぽすると、いっぱいビクンって震えて、すごいです」

【リアーナ】

「ん、ちゅぷ……くちゅ……いっぱい感じてください……
くちゅ……ちゅる、ぷちゅう……っ」

【リアーナ】

「んっ、ちゅぱあ……ほっぺに当たってる先っぽから、
せんぱいの熱が伝わってきます……」

【リアーナ】

「ちゅるっ……んちゅっ、ちゅくう……はああ♪
とろとろに蕩けちゃうくらい、甘やかしたくなっちゃいます♪」

【リアーナ】

「じゅるっ、じゅぷうっ……ぐちゅっ、ぢゅぶっ……
んっ、またおつゆが……んぢゅぐ、ぢゅちゅう……っ」

【リアーナ】

「うん……？ 『気持ちいいけど、ちょっと物足りない』ですか？」

【リアーナ】

「じゃあ、じゅぽじゅぽの方を激しくしますね？」

※んんうっ…唾液を放出（サオに塗りたいするために）

【リアーナ】

「その前に……んんうっ……」

【リアーナ】

「唾液を、おちんちんにぬりぬりして……」

／／★卑語なしver

【リアーナ】

「唾液を、カチコチのせんぱいのにぬりぬりして……」

／＼……………

【リアーナ】

「ん、これでよし、っと。それじゃあ……」

【リアーナ】

「じゅくつ、ぢゅぷるつ、んぢゅぐつ……じゅぽつ……
んぢゅつ、ぢゅむつ、ぢゅぐう……っ！」

／＼……………

【リアーナ】

「ぢゅぷつ、ぢゅくつ……おちんちん、いっぱいぬるしてるから……
じゅくつ、ぢゅむつ、じゅぷうつ……唇で、強く擦れます……」

／＼★卑語なしver

【リアーナ】

「ぢゅぷつ、ぢゅくつ……せんぱいの、いっぱいぬるしてるから……
じゅくつ、ぢゅむつ、じゅぷうつ……唇で、強く擦れます……」

／＼……………

【リアーナ】

「んぢゅつ、じゅぷつ、ぐぷ……っ！　ん、ぢゅるぢゅるう……っ！
口の中、せんぱいの味がちよつとずつ濃くなってきてます……」

【リアーナ】

「じゅぷつ、ぐぼつ、んぢゅう……っ！
ヨダレが止まらなくなるくらい、感じてるんですね？」

【リアーナ】

「私のお口で、もっともって感じてくださいね。
せんぱいがおなかいっぱいになるまで、いっぱいしますから」

【リアーナ】

「あ、せんぱいのおつゆ、零れちゃう。
んっ、ぢゅぢゅるるるうう……っ！」

【リアーナ】

「んんっ！ せんばいの、口の中でビクビクって……
イッちゃったのかと思いました」

【リアーナ】

「ふっ、んじゅっ、ぢゅく……っ！ ぢゅぷう……っ！
……もしかして、イクの我慢してます？」

／＼……………

【リアーナ】

「おまんこの時みたいに、もっともっとリアーナのことを感じていたい……？」

／＼★卑語なしver

【リアーナ】

「入れてた時みたいに、もっともっとリアーナのことを感じていたい……？」

／＼……………

【リアーナ】

「えへへっ、せんばいは甘えん坊ですね♪ でも、嬉しいです」

【リアーナ】

「私もせんばいにたくさん気持ちよくなって欲しいですから、
いっぱい我慢してくださいね？」

【リアーナ】

「ふっ、んじゅっ、ぢゅくっ！ じゅぷるっ！ ぢゅくっ！
ぢゅむっ！ んぢゅうっ！ ぢゅっ！ ぐちゅっ！ ぢゅぷっ！」

【リアーナ】

「んむっ！ せんばい、腰、引いちゃダメです。
んぢゅっ、ぐぷっ、ぐぼっ！ ぢゅぐるっ！ ぢゅちゅるっ！」

【リアーナ】

「んも……っ！ どうしても腰を引いちゃうなら、
腰に手を回して抱きしめながら……」

【リアーナ】

「じゅぷっ！　ぐちゅっ！　ぢゅむっ！　ぐぼっ！

ほら、せんぱいの大好きな、カリ首じゅぽじゅぽですよ？」

【リアーナ】

「ぐぷっ！　ぐぼっ！　じゅぷっ！　じゅくるっ！　ぢゅぐう……っ！」

／＼……………

【リアーナ】

「ぢゅぷっ、んっ……おちんちん、ぱんぱんに膨らんで来た♪」

／＼★卑語なしver

【リアーナ】

「ぢゅぷっ、んっ……せんぱいの、ぱんぱんに膨らんで来た♪」

／＼……………

【リアーナ】

「んじゅるっ、ぢゅくっ……

せんぱい、がんばって、もっとフェラチオ感じてください」

【リアーナ】

「（ああ、齒を食いしばって我慢してるせんぱい、かわいい♪）」

【リアーナ】

「（もっと、もっとしたくなっちゃう）」

※モノログ中、バックで流す用の汎用ちゅぽです。

【リアーナ】

「ぢゅっ！　ぢゅぷっ！　じゅぽっ！　ふむっ、んぢゅっ！

じゅくっ！　んじゅるっ！　ぢゅぷっ！　ぢゅぐうっ！」

【リアーナ】

「んぢゅるっ！　んあ、おつゆが、精液の味に似てきた」

【リアーナ】

「じゅちゅるっ！ んぢゅうっ……せんぱい、もう出るんですね？
いいですよ？ せんぱいの好きなところに出してください」

【リアーナ】

「ふぁむっ、ぢゅぷっ！ お口ですか？ わかりました」

【リアーナ】

「んぢゅっ、じゅくっ！ じゅるふっ！ ぐぼっ！ ぢゅぷっ！
全部ごっくんしますから、いっぱい出して下さいね！」

【リアーナ】

「ぢゅくっ！ んじゅるっ！ ぢゅちゅっ！ ぢゅむっ！ 来て、せんぱい！
じゅるじゅるっ！ またせんぱいを、精液を受け止めさせてください」

※口内射精

【リアーナ】

「んんっ！ おちんちん、ビクンビクン震えながら、
すごい勢いで射精してます……っ！」

／★卑語なしver

【リアーナ】

「んんっ！ せんぱいのが、ビクンビクン震えながら、
すごい勢いで射精してます……っ！」

【リアーナ】

「んあ……精液、すごい量……。
ダメ、口から零れちゃう……」

※ラストの『はぁぁ』は恍惚な感じで

【リアーナ】

「ん、んっ……ん、くっ……んくっ……んく……ん、はぁぁ……っ♪」

※ここから啞えてません

【リアーナ】

「ふふっ、せんぱいの精液、熱くて、どろっとしてるから、喉を通るのがハッキリとわかりましたよ？」

【リアーナ】

「それに、精液のにおいが鼻に抜けて……
お口に出されるのも、ごっくんするのも、すごかったです」

【リアーナ】

「(せんぱいの精液、おいしかったなあ……。
もっと欲しいかも……)」

//.....

【リアーナ】

「(あ、そうだ。おまんこの中に出したときみたいに、
まだおちんちんの中にちよっと残ってるかも……)」

//★卑語なしVer

【リアーナ】

「(あ、そうだ。私の中に出したときみたいに、
まだせんぱいの中にちよっと残ってるかも……)」

//.....

【リアーナ】

「(射精したんだから、また綺麗にしてあげないといけないよね。
うん、そうしよう!)」

//@SE:ベッドの軋み(せんぱいに近づこうとした)

//@SE:水音(濡れたシートorおしっこの水溜まり)

【リアーナ】

「ん……? 今の音……?」

【リアーナ】

「！？ ベッドがすごい濡れてる！？ なんで?!」

【リアーナ】

「え……？ 私が中出しされたときに、おもらし……した……？」

※今までのことを思い出した

【リアーナ】

「!!!!!!??」

※ガチへこみではなく、しょんぼりぐらいの感じで

【リアーナ】

「わ、私……せんぱいのことが好きすぎるあまり、いろいろと酷い姿を……」

※抗議色は薄めで。拗ねてるぐらいのニュアンスだと可愛くていいと思います。

【リアーナ】

「わ、笑わないでください……っ」

【リアーナ】

「え？ 『あんなにたくさん甘やかしてくれたリアーナが急に年相応に戻って
なんだかギャップがあって、すごくかわいかった』……？」

【リアーナ】

「え？ え？ 今、かわいいって……」

【リアーナ】

「『リアーナが情けない自分を受け入れてくれたように、
自分もどんなリアーナでも受け入れる』？」

【リアーナ】

「そ、それって……その……告白……っぽく聞こえるんですけど……」

※せんぱいが首を縦に振ったことに対するリアクション（驚き）

【リアーナ】

「!？」

【リアーナ】

「私のことが好きってことは、これからも甘えてくれるんですか？」

【リアーナ】

「せんばい、大好きです！」

//@SE:抱きつき返す（衣擦れ？）

【リアーナ】

「これからも、ずっとずっと甘えてくださいね♪」

//eof